

被害想定の見直しとその対策、住宅の耐震化、上下水道の耐震化

―能登半島地震を教訓に市の防災対策の見直しを―

亡くなられた方に哀悼の意を、被災された方にはお見舞いを申し上げます

最大震度7を記録し死者240人を出した能登半島地震を受け、市議団は2月5日、武内市長に「能登半島地震を教訓とした本市の防災対策の見直しについて」の申し入れを行うとともに、

文書での回答を求めました。この地震を通じて浮かび上がった課題を市の防災対策に生かしていくことが緊急に求められるとして、被害想定、津波被害想定、避難者の想定、水・食料・生活支援物資など公的備蓄、ト

イレ対策、入浴支援、安全で衛生的な避難所設置の見直しを早急に行うことを要望。また、住宅の耐震化対策、住宅再建支援、上下水道のライフラインの耐震化、本部対策の機能強化をはかることなどを強く求めました。稲原副市長が応対しました。

震災支援の上下水道局と懇談



市議団は1月26日、20日間にわたって29人が支援に駆け付けた（1月26日現在）市上下水道局の職員と懇談しました。職員は、崩れた家屋や陥没し、ひび割れた道路状況など、被災地の現状を報告。市議団は、支援の苦勞をねぎらうとともに、断水した地区での応急給水や下水管の修理作業について、熱心に耳を傾けました。



市上下水道局（左側）職員と懇談する市議団

北九州市議会 2024 年度

予算議会が始まります

皆さんの声と願いを届けます

北九州市の2024年度予算を決める定例市議会が2月20日から3月25日の日程で開かれます。荒川徹議員・団長が代表質疑、山内涼成、出口成信、永井佑の各議員がそれぞれ一般質疑を行います。

武内市長が打ち出した「北九州市新ビジョン」、「市政改革推進プラン」などについてたずととも、北九州市民の医療・暮らしの充実、学校給食の無償化をはじめとした子育て支援、補聴器購入助成など高齢者が住みよい街づくり、相次ぐ商店街火災や自然災害に対する対応・対策などについて市に迫っていきます。

また、日弁連（日本弁護士連合会）も市民の監視や財産権の侵害につながるとして反対声明を出している「土地利用規制法」に北九州市としてどう向き合うのかなど、様々なテーマを取り上げ、市民に寄り添った温かい市政の実現を目指していきます。

2月議会質問内容



荒川 徹 議員
(代表質疑 90分)

- 本市の新ビジョン、市政変革推進プランについて
- 財産権を侵害する土地利用規制法について
- 物価高から市民の暮らし、事業者の経営を守る施策について
- 市民の医療・福祉・子育て支援について
- 能登半島地震を教訓とした防災対策の見直しについて
- 自然災害対策について
- 「下関北九州道路」の中止を



山内 涼成 議員
(一般質疑 60分)

- 教室の断熱化について
- 補聴器購入助成について
- 門司港駅遺構の移築について
- 公営交通の役割について



出口 成信 議員
(一般質疑 60分)

- 中学校の特別支援学級支援について
- 地球温暖化対策について
- 商店街の防火対策について



永井 佑 議員
(一般質疑 60分)

- 保育の無償化、処遇改善について
- 人工呼吸器ユーザーの非常用電源について
- 学校給食への有機農産物の使用について

2月議会日程

- ◆ 本会議（開会） 2月20日（火）
- ◆ 議会運営委員会（議運） 26日（月）
- ◆ 本会議（代表質疑） 27日（火）、28日（水）
- ◆ 本会議（一般質疑） 29日（木）、3月1日（金）
- ◆ 常任委員会 4日（月）、5日（火）
- ◆ 常任委員会 6日（水）
- ◆ 常任委員会／議運 7日（木）

- ◆ 本会議／予算特別委員会 8日（金）
- ◆ 予算特別委員会 11日（月）、12日（火）
- ◆ 13日（水）、14日（木）
- ◆ 19日（火）市長質疑
- ◆ 常任委員会 21日（木）
- ◆ 予算特別委員会／議運 22日（金）
- ◆ 本会議（閉会） 25日（月）

■ 2月議会日程
(請願・陳情の締め切りは3月12日（火）まで)

FOR ONE MILLION SMILES

100万人の笑顔のために

市議会ニュース

2024.2.14
No.583

発行 日本共産党北九州市会議員団 北九州市小倉北区内1-1 TEL (093) 582-2646・FAX (093) 582-4113

日本共産党北九州市議団 ホームページアドレス⇒



「鳥町食道街」火災で市消防局、商店街幹部と相次いで懇談

党市議団は2月3日、「鳥町食道街」（小倉北区魚町1丁目）で起きた火災をめぐり、市消防局と「二度と商店街火災を起こさないため」の率直な懇談をしました。

消防局からは、全国の商店街における消火器の点検・チェックなど防災の取り組みを紹介。市議団からは一定の拘束力ある防火指導などの必要性についても意見が出されました。

消防、市議団双方から、古い町並みを保つ京都・先斗町が商店街として、消防・防火体制に力を入れ、街の決まりを守れない商店は、参入できない仕組みを作っていることなどの報告があり、街づくりと消防を一体のものとして進めることの重要性が強調されました。

また2月2日には魚町商店街振興組合の梯輝元・理事長と懇談。議員から商店街の土地の権利関係の現状、再建の可能性など質問が相次ぎました。



消防局と懇談



魚町商店街振興組合 梯輝元・理事長との懇談

梯理事長は被災した商店街の実態や歴史にも触れながら、鳥町食道街の通路が私道で商店街の再建にあたり、困難さが伴うことを率直に指摘。行政、地権者、店主などによる意見交換の必要性を強調しました。

北九州、福岡両政令市の議員団が懇談・交流

日本共産党の北九州、福岡の両市議団は1月25日、福岡市内で懇談を行い、保健所統廃合、大型開発、災害対策などについて率直な意見交換を行いました。

保健所問題では、昨年末に統廃合が強行された福岡市から、その影響や問題点、市民との新たな共同について報告。1996年に統廃合された北九州市からは、統合による影響として、コロナ対策の不十分さとともに、派遣会社からの職員派遣によって、電話対応などが行われるなど、福祉、暮らしを守る自治体本来の役割が切り捨てられている実態が報告されました。



懇談後、福岡市が容積率などの規制緩和で進める「天神ビックバン」の建設現場を視察。神社や歴史ある路地をなくすなど推進の背景に、大手企業の意向が強くと働いていることが明らかになりました。

日本共産党各議員の常任委員会配置 (◎委員長、○副委員長、☆議会運営委員)

総務財政委員会 大石 正信	経済港湾委員会 高橋 都	教育文化委員会 ◎永井 佑 藤沢 加代	保健福祉委員会 荒川 徹 伊藤 淳一	環境水道委員会 出口 成信	建設建築委員会 ☆○山内 涼成
------------------	-----------------	---------------------------	--------------------------	------------------	--------------------

日本共産党市議団

グリーンエネルギーポートひびき 風力発電事業を調査



田村貴昭衆院議員も参加

市議団は1月12日、北九州市がすすめる風力発電関連産業の拠点形成のための「グリーンエネルギーポートひびき」事業について、市の担当者から聞き取りと視察を行いました。田村貴昭衆院議員も参加しました。

同事業は、港湾の活用による都市の活性化が目的。大型風車25基を設置し、出力22万キロワット、約17万世帯の電力をまかなう計画で、現時点では国内最大規模となります。総事業費は1700億円。現在、同区の響灘沖合に建設中の洋上風力発電所が、2025年度中の運転開始を予定しています。

初代門司港駅遺構の「一部切り出し移築」保存 市、移築費用として2000万円計上 市民団体「現地保存」求め、講演会開催へ

専門家からも「おかしいぞ」の声



明治期の初代門司港駅遺構の保存をめぐり、市が「一部移築方針」を打ち出したことに対し、専門家、学術団体、市民団体から「現地保存」を求める声が相次いでいます。

専門家としては、市文化財保護審議会の5人の委員全員に加え、都市史学会長、また学術団

体として九州考古学会など6団体が現地保存を求める要望書を提出しています。

一方、市は3月議会に提出の予算に「一部移築保存」を進めるため2000万円を計上しています。市議団は議会で「現地保存」を求める論戦を繰り広げ、市民団体が企画している講演会「初代門司港駅の出現」で高橋都市議が報告します。

講演会の日程は下記のとおり

ところ 門司生涯学習センター
とき 3月16日午後1時30分から

市政懇談会のご案内

24年度予算などを審議する2月議会の開会にあたり、市民のみなさんのご意見、ご要望をお聞かせいただく「市政懇談会」を右記の日程で開催します。入場は無料です。

■とき 2月24日(土)午後2時から
■ところ 北九州市立男女共同参画センター(ムーブ) 5F 大セミナールーム

